

2021年度 マグノリア学寮 LLCガイドライン

Magnolia Residence Hall LLC Guideline

LIVING LEARNING COMMUNE<共に生き、共に学ぶコミュニティ>

図1 共に生き、共に学ぶコミュニティ



四国学院大学の創立70周年記念事業として、2021年3月、キャンパス内にマグノリア学寮が開設されます。マグノリア学寮は、生活と学びが融合した場として、本学の建学の精神に沿った教育の重要な一環として位置づけられています。入寮する学生はすべて、全て特別待遇を享受する「マグノリア学寮奨学生」（以下「学寮生」）です。学寮は、学寮生と教職員が<共に生き、共に学ぶコミュニティ>（Living Learning Commune、以下：LLC）を実践する空間であり、LLCを通して学寮生には以下のような特性を発揮することが求められます（図1を参照）。

- 自己と向き合い、他者との共同性構築を真摯に求めるリーダーシップ
- 様々な人間やモノへの創造性・想像力と包摂性を備えた柔軟な感性
- 社会の課題への関心と読解力／理解力

マグノリア学寮のLLCは、本学の教養教育カリキュラムの根底にあるリベラルアーツの考え方、そして本学の教育理念の核となるキリスト教信仰に基づいています。LLCを形成する試みは、本学のミッションである「豊かな人間性の醸成に寄与する教育を行う」ことです。学寮生と教職員が二人三脚で構築するLLCは、少人数制の学びを重視する本学の教育の一環です。LLCを通して、学寮はより質の高いリベラルアーツ教育を目指し、学寮生は共同生活の中で大学における学びの可能性を肌で感じることができるようでしょう。学寮生は教室での学習や議論を生活の中で続けることができ、教室を超えたりベラルアーツの学びを深く体験することができます。それは、「共に生き」・「共に学ぶ」大切さを自然に身につける空間でもあります。学寮生は、同級生や他学年の学生との共同生活、自己の可能性に対するチャレンジ、実践に基づく学び、利害を超えた人間関係の構築を通して、新しい思考力と想像力を体得する機会が得られるでしょう。

マグノリア学寮が展開するLLCには、以下のような特徴があります。

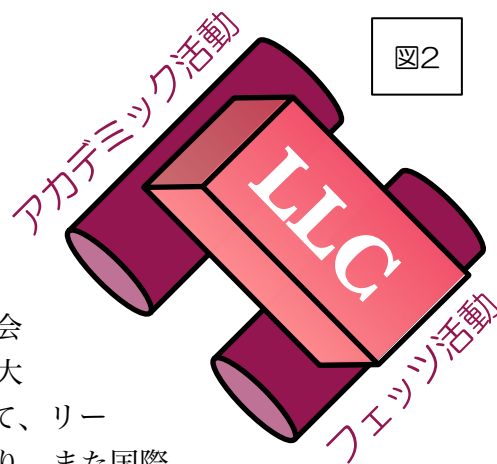
- マグノリア学寮には、異なる価値観を持つ学生同士の出会いを通して共同性と問題解決能力、コミュニケーション能力を試行錯誤的に身に付けることができる環境が整備されています。
- 学寮生は、マグノリア学寮の1階交流スペース等を用いて、創造的かつ自由に、そして自発的に学び続けるコモン空間を創造します。
- 学寮生は、リベラルアーツの幅広い知識と教養を学び、様々なキャリアや卒業後の人生に役に立つ実践的スキルを身につけます。
- 学寮生は、教職員との交流を通して、本学のカリキュラムに関する充実した支援を受けることができます。

- LLCは、本学キャンパスの活性化だけでなく、地域住民との交流の場（教育寮）を創出していくことを目指しています。

アカデミック活動とフェッツ活動：LLCの両輪

①アカデミック活動と②フェッツ活動は、マグノリア学寮LLCの発展に必要な両輪です（図2を参照）。

- ① アカデミック活動は、「教室外での持続的な学び」をコンセプトに、幅広い問題関心を教職員と学寮生のあいだで共有し、様々な学問領域を横断しながら、活動を展開していきます。アカデミック活動の一環として、特別講演会やワークショップを主宰し、マグノリア・カフェを通しての少人数の勉強会などを行います。大学共同体の一部として、新たな学びの形式を大学と共に模索していきます。学寮生はアカデミック活動を通して、リーダーシップと責任感、人間の尊厳、多様性の理解、地域との繋がり、また国際交流を追求します。
- ② フェッツ活動の「フェッツ」は、「祝祭」を意味するフランス語のfêteに由来します。バーベキュー大会やパーティー、送別会、大学祭への参加を通して、豊かな人間関係づくりが繰り広げられる環境を整えていきます。「楽しさ」だけではなく、ダイナミックな相互行為の場を創造します。学寮生はイベント等の企画運営に関わることを通じて、他者への思いやり、葛藤と向き合う能力を身に付けていきます。フェッツ活動の様々なイベント・行事への参加やその準備に伴う共同作業を通して、コモンの拡大、チームビルディングとコミュニティ意識を高め合うことを目標とします。



2021年度の年間行事スケジュール

2021年度の年間行事スケジュールは以下のとおり行う予定です（表1を参照）。大学の年間行事に沿って、マグノリア学寮も様々な活動を展開していきます。クリスチャン・ウィーク、マイノリティウィーク、大学祭、人権週間、クリスマス・プロジェクト等と連携をとり、キャンパス・ライフのさらなる充実を図ります。また、学寮はマグノリア・カフェの拠点として、春学期からマグノリア・カフェに参加する学寮生の募集を募り、秋・冬学期には学寮内で発表会を開く予定です。その他、学生の要望に応じてレジデント・アシスタント（RA）

マグノリア・カフェ Q&A

Q マグノリア・カフェについて教えてください。

A 学寮のアカデミック活動の基軸の1つに「マグノリア・カフェ」があります。教員、学寮生、そして一般の学生が共に学ぶ場です。勉強会やフィールドワークを通して、社会の課題への関心を深め、読解力／理解力を培っていきます。課外活動として正規カリキュラムを補強しながら、現代社会に「問いを発見」して「適切な問い方」（問題構制＝パラダイム）を模索する時空を、本学キャンパスに実現しようとする試みです。マグノリア・カフェは、学寮1階のスタディラウンジ1を主な拠点として活動します。



を中心にイベントの企画と運営を行います。学寮生は、アカデミック活動とフェッツ活動に参加し、1年に1回以上は運営側に回らなければいけません。

表1

	名称	タイプ	内容・目的	備考
1) 春学期	歓迎会	フェッツ	マグノリア学寮の精神の共有、そしてコミュニティ感覚を養う。	
	特別講演会	アカデミック	クリスチャン・ウィーク、あるいはマイノリティ・ウィークとの連携をはかり、学寮／教育寮としての理解を深める。	講師：山下壮起牧師（5月末予定）
2) 秋学期	大学祭	フェッツ	お店、あるいは展示の出店。大学キャンパスの活性化につなげる。	前夜祭（食事会）の検討。
	マグノリア・カフェ 発表会・映画祭	アカデミック	マグノリア・カフェ関連の映画の視聴、そして発表と展示を行う。	マグノリア・カフェ報告ポスターを1階に貼る。
3) 冬学期	クリスマスパーティー	フェッツ& アカデミック	クリスマス・プロジェクトとの連携をとり、大学キャンパスのイベントに貢献。	
	卒業生キックアウト	フェッツ	1年間のお疲れ様会を行う。在学生が卒業生を送り出すイベント企画。	
4) 全学期	学寮生自主企画	フェッツ& アカデミック	学寮生自ら企画を行い、諸活動を通して自主性や共同性を養う。	企画書をRA、あるいは学寮アドバイザーに提出する必要がある。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のために、スケジュールや内容等の変更の可能性があります。

学寮生・RA・学寮アドバイザー

マグノリア学寮LLCの構成員として学寮生、RA、学寮アドバイザーの3つの異なる立場のメンバーがアカデミック活動からフェッツ活動、その他の共同性に連なる空間づくりに関わります（図3を参照）。学寮生とRAはマグノリア学寮に住み、LLCの実践に直接取り組みます。RAは、学寮アドバイザーと学寮生間のパイプ役として、大学の教職員と緊密な連携を築き、学寮におけるリーダーシップの発揮を目指します。学寮アドバイザーは、学寮生（RAを含む）の悩みや要望等に耳を傾け、教員の立場から私生活や学寮内外等の活動に対してアドバイスを行います。学寮アドバイザーは、具体的に以下のようなことをします。

1. 学寮生のキャンパスライフ全般へのサポートおよびケア活動（年に3回程度、担当学寮生と面談を行います。）
2. 学寮が主催・共催・協力する学寮内・学内・学外でのイベントのサポート
3. 入寮者選考
4. 学寮に関する会議への出席

